



# 広島大学文学部 第20回「文藝学校」講演会

広島大学文学部と NPO 法人「本の学校」共同開催の「文藝学校」、20 回目の今年は、2 日間行います。

日時 2024 年 11 月 23 日 (土) 10 : 30~17 : 00  
11 月 24 日 (日) 10 : 30~17 : 00

両日とも  
受験相談会あり

会場 鳥取県立米子産業体育館 小会議室 (「本の学校 今井ブックセンター」向かい側)  
参加費 無料

## お申し込み方法

①ご氏名 ②ご住所・お電話番号 ③ご希望の講座 ④学校名 (受験相談会ご希望の方) を  
お知らせください

## お問い合わせ・お申し込み先

NPO 法人「本の学校」 電話 0120-479-233 (火~土 13時~17時)  
FAX 050-3451-8165 メール npobschule@gmail.com

## テーマ「豊かな人間性を培う人文学」

1 日目 11 月 23 日 (土・休)

10 : 30~10 : 40 1 日目 開会あいさつ

1-1. 10:40~11:40

【講師】 尾園 絢一 (言語学分野 准教授)

【演題】 グローバル化と古代語・古典語の世界

【要旨】 インドの古典語サンスクリット語や英語やドイツ語などのヨーロッパの言葉は元は同じ祖先に遡ります。つまり元々一つの言葉であったものが、別れて各地に広がって個々の言語として発展しました。ヨーロッパの言語の祖先と言える言葉 (インド・ヨーロッパ祖語) を話していた民族がどのようにして拡大し、どのような資料を残し、今日に至ったのでしょうか。こうした問いについて、ヒッタイト王国資料、古代インドのバラモン教聖典ヴェーダ、ホメーロス叙事詩などの資料を紹介しながら、人類史、今日のグローバル化の背景といった観点から探ってみたいと思います。

1-2. 11:50~12:50

【講師】 小川 陽子 (日本文学語学分野 准教授)

【演題】 紫式部と『源氏物語』

【要旨】 今年は大河ドラマ「光る君へ」が大きな話題となっています。『源氏物語』の作者・紫式部を主人公とするドラマですが、ではどうして紫式部が『源氏物語』の作者だとわかるのでしょうか。『源氏物語』は長い長い物語ですが、いつ、誰が書いたのかということは、物語のどこにも記されていません。物語の成立について、『源氏物語』と『紫式部日記』を紐解いてお話しできればと思います。平安文学の世界をご一緒しましょう。

12 : 50~13 : 40 休憩

1-3. 13:40~14:40

【講師】 船田 善之 (東洋史学分野 准教授)

【演題】 モンゴル帝国とアフロ・ユーラシアの文化交流：新たな知の時代の幕開け

【要旨】 13 世紀、チンギス・カンによって建てられたモンゴル帝国は、ユーラシアの様相を大きく変えることとなりました。近年、モンゴル帝国の研究の進展によって、その歴史的意義が注目されるようになってきました。この時代、アフロ・ユーラシア規模のヒト・モノ・情報の移動と交流が活発となり、それらによって人類の知は新たな段階に移行しました。旅行記・歴史書・辞書などの書物や地図・天文学・暦・言語・文字などさまざまな事例から、当時の知識の拡大と技術の革新を論じます。

